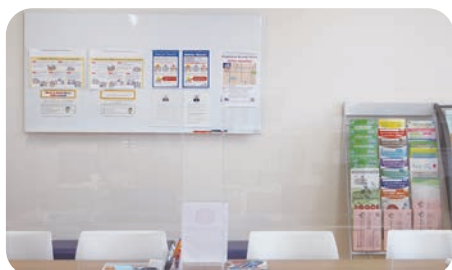


外国人住民支援



▲外国人の皆さんが気軽に相談に来られる明るい雰囲気です。

令和2年6月末から、栃木市国際交流協会は、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館の3階に事務室を移転しました。

外国人相談窓口は、相談で来所された方の名簿作成、手指消毒やアクリル版の設置などコロナ対策を取りながら、生活相談の支援を行いました。

また、栃木県や栃木市が発信する感染予防対策などの情報を市内の外国人住民に向けて、多言語で周知する協力を行いました。

外国人住民のための相談窓口 スペイン語の相談員が対応可能な日

毎週火曜日	栃木市役所 市民生活課外国人相談窓口	9:00～17:00
毎週水・木曜日	栃木市国際交流協会外国人相談窓口	9:00～17:00

☆ スペイン語のほか相談は、英語・中国語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語など多言語で対応しています。翻訳機を使って対応する場合があります。

☆ 通訳・翻訳業務を承ります。

国際理解教室



11月27日、栃木西中学校で、「世界から学ぶ」をテーマに、8か国（タイ・韓国・中国・ベトナム・フィリピン・ネパール・スリランカ・ブラジル）の外国人講師を招き、1年生160人を対象とした国際理解教室が開催されました。

外国人講師の皆さんは、それぞれの国の基礎知識や生活習慣、学校生活や食文化などをパソコンや写真を使って、視覚的にもわかりやすく紹介していました。

多言語情報コーナー



▲栃木市非常事態宣言が発令中は、リモートでご出演いただきました。

毎月、FMくらら857のラジオ番組「多言語情報コーナー」で、外国人住民の皆さん向けに、多言語で情報の発信を行いました。

「広報とちぎ」の記事から、外国人住民の皆さんにも必要な行政情報や市の話題などを英語・中国語・スペイン語・フィリピン語・ネパール語・ベトナム語の6つの言語で放送しました。令和2年度から、新しくベトナム語の放送が加わりました。担当しているのは、市内企業の技能実習生の皆さんです。

市役所からの情報などのほか、母国の行事や生活習慣や食べ物にまつわる楽しい話題もたくさんお話いただいています。

多言語に翻訳した情報は、栃木市や当協会のホームページから読むことができます。

また、市内の企業や学校向けに、「ニュースレター」として、ペーパーでも配布しています。

外国語講座・初級英会話（昼間）▶▶▶▶▶

9月1日から1月12日まで毎週火曜日、初級英会話（昼間）を開講し、12名が受講しました。

今年度の外国語講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、募集人員を例年の半分とし、机の配置、室内の換気等に十分気をつけて行いました。受講生の皆さんは、毎回手指の消毒、検温、名簿の提出にご協力をくださいました。

しかし、本来は全20回だった講座も、1月14日から栃木市非常事態宣言が発令されたため、開講を自粛せざるを得ず、全17回で打ち切りとなりました。

受講生の中で希望する方たちは、今後、講座が再開できるようになったら、OB会として、継続して学習を続けていきたいとのことです。



日本語ボランティア養成講座▶▶▶▶▶

10月3日から11月28日まで隔週土曜日、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館で、角田亮子さんを講師に「日本語ボランティア養成講座」（全5回）を開催し、7名が受講しました。

受講生の皆さんからは、改めて日本語の難しさを知ったとか、今後も続けて勉強したいなどの感想をいただきました。



【角田先生より一言】

毎年、日本語に興味のある方や、国際交流に興味のある方が、「日本語で日本語を教えるってどういうこと?」「私にも日本語ボランティアができるだろうか」と、期待と不安が入り混じった気持ちで受講してくださいます。

「言葉」は生活するため、自身を表現するために必要な道具であり、日本語が学べる地域日本語教室は、外国人住民にとって、とても貴重な場となります。しかし、ここで行われていることは日本語学習だけではありません。外国人住民・日本人住民が互いを知り、異文化に触れ、自文化や自身について考える。大切な友人ができたり、言葉の面白さに気付くこともあるでしょう。小さな教室は様々な学びに溢れ、グローバル且つユニークな場所となっています。

「外国人住民にとって住みやすい地域は、日本人住民にとっても住みやすい」。

今回の講座や、地域日本語教室が、栃木市の多文化共生の一端を担う場となっていることを願っております。

私のふるさとの料理・味自慢



今年度は、世界の料理教室を開催できませんでしたが、小中学校の国際理解教室で母国の食文化などを紹介しているタイ出身のエバンゲリスタ タナポンさんとネパール出身のネウパネ カピルさんに、懐かしいふるさとの料理を作っていただきました。

ヤムウンセン（タイ風春雨サラダ） エバンゲリスタ タナポン

私がこの料理を選ぶのは、子どもの頃、母がよく作ってくれた思い出の一品だからです。私は、いつも母の料理を手伝いました。材料を用意したり、野菜を切ったりしていました。母は料理を作るのが上手なので、味がすべて美味しかったです。母の手料理がすごく恋しいです。母と一緒に料理を作った時のことがすごく思い出に残っています。

私にとっては、タイの家庭料理の中で、「ヤムウンセン」は一番簡単なレシピだと思います。なぜかという、料理が苦手な私でも簡単に作ることができます。また、日本で買うことができる材料であり、手間をかけずに作れるレシピだからです。

「ヤムウンセン」は、タイで非常に有名な料理なので、基本的にタイ全土どこでも食べることができます。家庭でよく出てくる料理であり、ホームパーティーや小腹が空いた時に、この一品で十分だと思います。甘味と辛味、そして酸味が絶妙なバランスで混ざり合ったタイで人気の家庭料理です。特に女性に人気のメニューなので、女子会にもおすすめです。

ヘルシーで健康にいいですよ！！



【材料】

緑豆春雨
ひき肉
エビ（生・むきえび）
玉ねぎ
トマト
小ネギ
セロリ
パクチー（コリアンダー）
★レモン汁
★ナンプラー
★砂糖
★スイートチリソース

【作り方】

1. 玉ねぎとセロリは薄切りにします。
2. 小ネギ、トマト、パクチーは食べやすい大きさに切っておきます。
3. 鍋にお湯を沸かして、ひき肉とエビを入れ、中に火が通る程度になったら、さらに春雨を入れ、3分間程ゆで、火から下ろし、お湯を切ります。
4. ボウルに★を入れ、混ぜ合わせ、1と3を加えたら、さらに2を入れ、全体に味がなじむようにあえます。
5. 容器に盛り付け、完成です。

キール（ライスプディング） ネウパネ カピル

2013年7月にネパールから留学生として来て、現在小山市内でネパール・インドカレーの店「カリ屋ポカラ」を経営している ネウパネ カピルです。

ネパールで愛されている食べ物 キール（ライスプディング）をご紹介します。

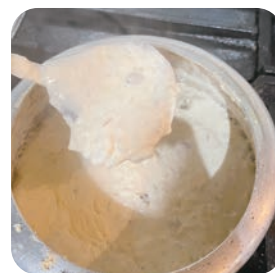


ネパールのデザートは、ミルクベースのものと小麦粉を使ったものに分けられますが、ミルクベースのデザートの代表でもあるキールは、ネパール暦のシャーワン15日のお祭りのデザートとして食べられます。ですから、単なるデザートというよりは、純粹で神聖なものと考えられています。

「キールを食べる日」と訳されるキールケーンディンは、ネパールの農家にとって収穫の日でもあります。収穫期の終わりを祝い、プラサド（神聖な供え物）として、神々にキールをお供えし、自分たちも楽しめます。

今回ご紹介するのは、日本人の皆さんが作りやすいように、アレンジしました。キールは温かくても、冷たくてもおいしいです。

今すぐキッチンで、このネパールのおいしい料理を作って、この味を体験してください！



【材料】（5人分）

お米250 g

※お米は約1時間お水につけます。

牛乳1ℓ

バター（無塩）150 g

砂糖100 g

＜ドライフルーツ＞

あらびきココナッツ100 g

カシューナッツ100 g

レーズン100 g

アーモンド100 g

＜スパイス＞

クローブ5 g

シナモンスティック5 g

グリーンカルダモン5 g

黒コショウ5 g

ベイリーフ1 g

黒カルダモン5 g

ナツメグ3 g

【作り方】

1. 砂糖と牛乳を火にかける。常に弱火にして、ゆっくり作ります。
2. 米とバターを混ぜる。（米は洗わないでください。）
3. 米を温めた牛乳の中に入れ、かき混ぜ続ける。（ここからも常に弱火にして、ゆっくり作ります。）
4. 米が柔らかくなるまで、煮ながら混ぜ続ける。
5. もったりとしてきたら、カルダモン、カシューナッツ、レーズン、黒コショウなどを加える。



栃木県の外国人キーパーソンの一人であるルイテル マヘスさんに、栃木市で活動するネパール人コミュニティについてご紹介いただきました。

とちぎネパールコミュニティについて

栃木県に住むネパール人の団体「とちぎネパールコミュニティ」は、10年以上前から、「とちぎネパール サザ（共通）サマーズ（ソサエティー）」、「とちぎネパールサマーズ（ソサエティー）」等と名前を変えながら活動していたグループです。2年前から私（ルイテル マヘス）が代表に就き、「とちぎネパールコミュニティ」と名称も改め、積極的に地域のために活動しています。

活動内容について

- 1) 年間最低2回（前半と後半）清掃活動を実施。
- 2) SNS（例えば、Facebook・Viber・LINE等）を通じて、ネパールコミュニティの皆さんに必要な情報（災害情報、新しい法律、交通ルール、イベント案内、生活に関する情報、行政手続き等）を提供。
- 3) 困った人に対してネパール語で無料カウンセリング。
- 4) 栃木で災害に遭われた外国人のための募金活動、お見舞いなど。
- 5) 外国人のことを取材する新聞記者・テレビ取材にネパール人の声を届ける。
- 6) 災害が起こった後、被災された方の復興のための協力。（例えば、令和元年東日本台風（台風第19号）の被災者宅の片づけ作業に、コミュニティのメンバー28名が参加した。）
- 7) 栃木市国際交流協会が実施するイベントへの参加協力。（とちぎインターナショナルまつり、その他外国人住民対象事業等）
- 8) 国際交流協会と提携し、外国人に必要な説明会の開催協力。（例えば、ゴミの分け方・出し方、正しい自転車の乗り方、防災訓練等）



▲清掃活動するのは、栃木に住むネパール人に地域に対しての責任感を持ってもらうため



▲コミュニティとしてまとまるのは、ボランティア活動・地域貢献のプラットフォームをつくるため

地域と関わることで、何かが変わる！

ある町に住んでいる以上、その町に愛着があります。住んでいる地域の文化、環境、ルールを守るのは、現代社会では当たり前のことです。特に異文化で育ってきた外国人がその町に住むと、すぐにはその町の全ての情報を把握することができません。つまり、文化の違い、習慣の違い等により、ルールがよくわからないということがあります。日本人であれ、外国人であれ、町に住む皆さんがまずは、自分はその町の一員だ！という意識を持つ必要があります。みんなで時間を作って地域貢献をすれば、その地域ばかりでなく、国が大きく変わると思います。



▲アベスリヤさんは、新年度から、FMくらら857の「多言語情報コーナー」で、シンハラ語の放送を担当します。

スリランカ民主社会主義共和国

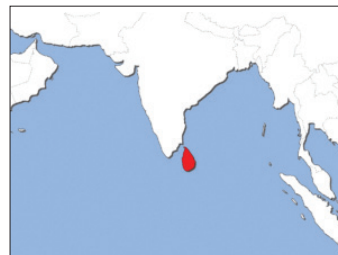
Democratic Socialist Republic of Sri Lanka

面積 65,610km²（北海道の約0.8倍）

人口 約2,103万人（2016年）

首都 スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ

言語 シンハラ語、タミー語、英語



私はアベスリヤ ヴィシャカ ウダヤンガニです。1983年2月18日スリランカのコロomboで生まれました。五人家族の長女です。父親は軍人で、母親は警察署の偉い人でした。家族の中では厳しく育てられました。親からのしつけの中でも、特に挨拶などをよく教えてもらいました。

スリランカの高校で、日本語を学びました。12歳からNHKの番組を見ていて、幼い頃から日本語を続けて勉強するつもりでいた私は、2004年5月日本に留学しました。最初は山梨県にある日本語学校に2年間通い、2006年3月に卒業しました。2006年4月からは山梨英和大学の人間文化学部に入學し、2010年3月に人間文化学科を卒業しました。大学時代には、生け花や茶道などをクラブ活動で学びました。日本語能力試験のN2に合格しました。今年はN1の試験を受けるつもりでいます。

いつか日本語の先生になるつもりでいた私は、現在、オンラインで、スリランカにいる中学3年生と高校生に日本語を教えています。そして栃木市国際交流協会で、シンハラ語の通訳や翻訳をしたり、小中学校の国際理解教室でスリランカの紹介をしたり、多言語情報コーナーでも、シンハラ語の翻訳を担当しています。

初めて日本に来て、空港に着いた時から、日本人の挨拶が一番気になっていました。スリランカから来て17年経ったいま、私はスリランカ人と結婚して、今年小学2年生の息子と3才の娘がいます。私は、自分の子供にも挨拶など含めて教育させたいと思い、日本に住んでいます。私に出来なかったこと、例えば、習字や空手など日本の文化も勉強させてあげたいです。

母国と同じぐらい日本を愛しています。日本は、私の人生が良いほうに向かうために、役に立った国です。尊敬し、感謝しています。

会 員 募 集 !

協会事業は、会員の皆様のご支援とご協力により運営されています。

ぜひ、趣旨にご賛同いただける方は、会員にご加入ください。



個人会員	年額 2,000円
家族会員	年額 3,000円
団体・法人会員	年額 10,000円

日本語教室

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、日本語教室を自粛してきましたが、10月から12月までの間、栃木第五地区コミュニティセンターと大平公民館の2つの会場で開講しました。

ベトナム、ブラジル、フィリピン、インド、スリランカ、中国などの国籍の皆さんが参加しました。

通年で思ったような授業ができませんでしたが、教室がなかった間も、国際交流協会には、日本語を勉強したいという人たちからの問い合わせがたくさんありました。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、早く教室が再開できるよう努めてまいります。

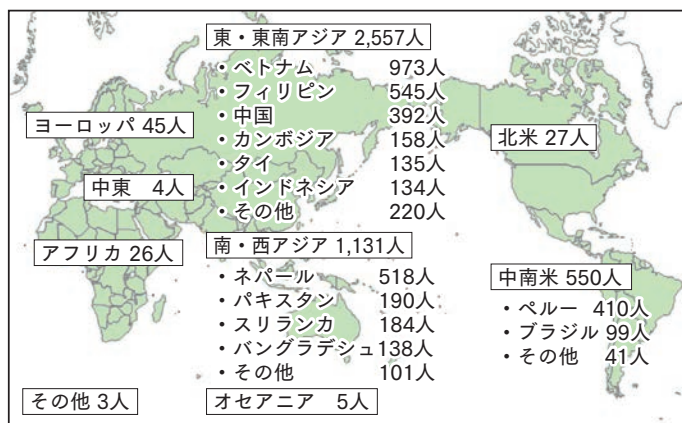


日曜クラス	会 場	栃木第五地区コミュニティセンター (栃木市箱森町36-31)
	日 時	第1・2・3日曜日 午前10時～12時
	料 金	1か月 1000円
	レベル	初級
大平教室	会 場	大平公民館 (栃木市大平町蔵井2001-3)
	日 時	第1・3土曜日 午前10時～11時30分
	料 金	無料
	レベル	初級

8

栃木市国際交流協会だより
第13号

栃木市外国人登録者数



2021年4月1日現在	男	女	合 計
外国籍 (栃木市全体)	2,546人	1,802人	4,348人
栃木地域	1,292人	1,006人	2,298人
大平地域	731人	471人	1,202人
藤岡地域	141人	64人	205人
都賀地域	174人	96人	270人
西方地域	54人	40人	94人
岩舟地域	154人	125人	279人
栃木市全人口	79,013人	78,916人	157,929人

発行

栃木市国際交流協会 (TIC)
〒328-0016
栃木市入舟町6番8号
キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (栃木市市民交流センター) 3F
TEL: 0282-25-3792 FAX: 0282-25-3928
E-mail: info@tic-tochigi.jp URL: http://www.tic-tochigi.jp

ホームページは
スマホ対応に
なりました

